

社会資本総合整備計画(市街地整備)

な か 那加 from Park こうそう 構想

ぎ ふ 岐阜県 かかみがはら 各務原市

令和6年4月

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (市街地整備)

令和 年 月 日

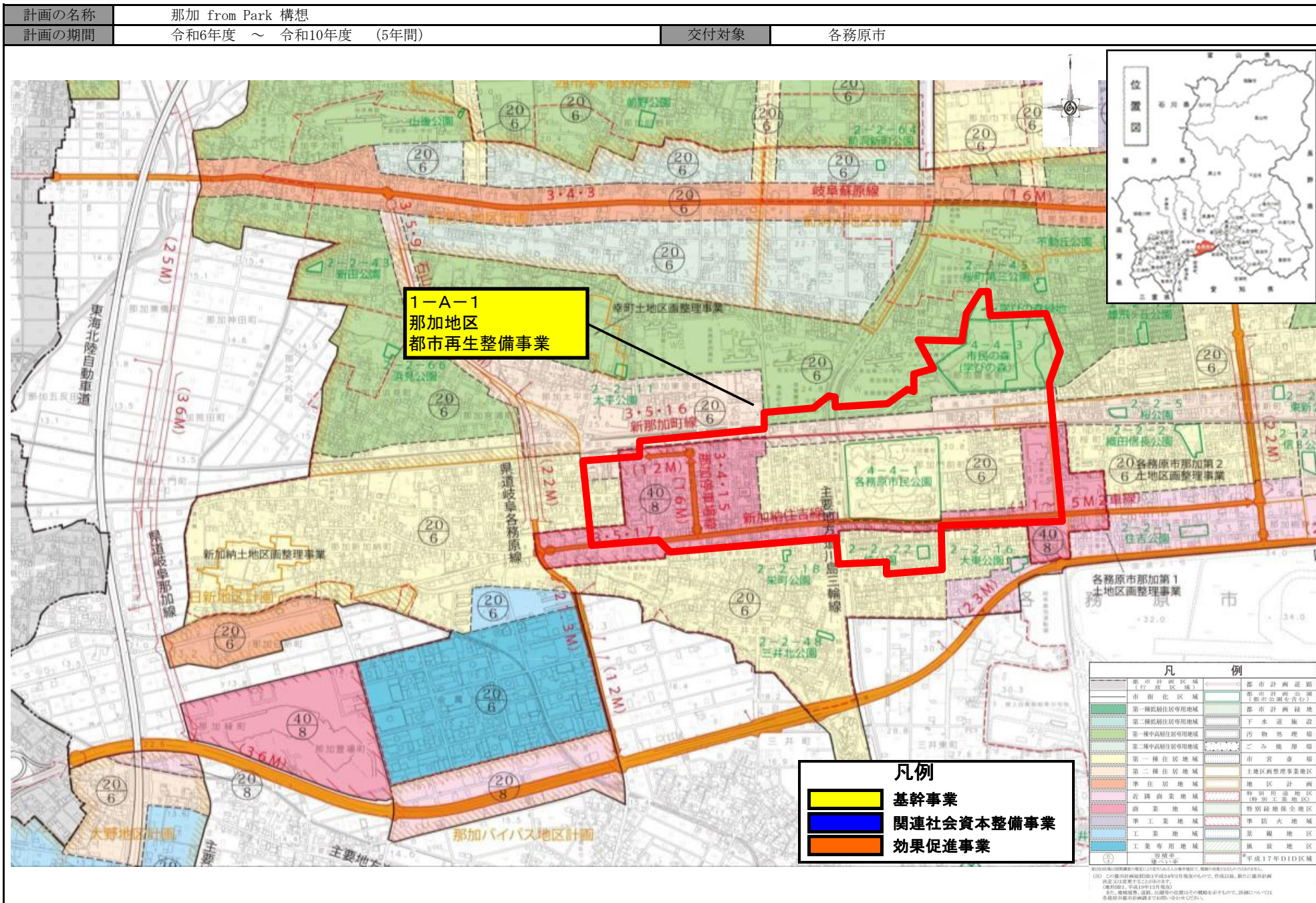
計画の名称	那加 from park 構想										重点配分対象の該当	○					
計画の期間	令和6年度 ~ 令和10年度 (5年間)					交付対象	各務原市										
計画の目標	<p>大目標：にぎわいや交流に溢れる那加地区の実現          目標1：公園を中心とした安全で快適に歩ける歩行空間の創出による回遊性向上          目標2：官民一体となった日常的なにぎわいや交流の生まれる空間の創出</p>																
計画の成果目標 (定量的指標)	<ol style="list-style-type: none"> <li>都市公園の利用者数・・・・・・・・・・賑わいと憩いの空間の創出により都市公園の利用者数が増加する。</li> <li>都市公園での滞在時間・・・・・・・・・・賑わいと憩いの空間の創出により都市公園での滞在時間が増加する。</li> <li>都市公園・歩行者空間の魅力度・・・・・・・・・・回遊性の向上、魅力ある滞留空間・交流拠点の創出によって都市公園・歩行者空間の魅力度が増加する。</li> <li>官民連携イベントの開催・・・・・・・・・・都市公園や歩行者空間の整備により創出された空間を利用して官民連携イベントが実施されやすくなる。</li> </ol>																
定量的指標の定義及び算定式											定量的指標の現況値及び目標値		備考				
											当初現況値 (R4)	中間目標値		最終目標値 (R10)			
	市民公園東駐車場の1年度間の利用台数										216,741 台/年	-	249,251 台/年				
	名古屋鉄道市民公園前駅の1年度間の乗降者数										120,214 人/年	-	130,000 人/年				
全体事業費	合計 (A+B+C+D)		468百万円	A	468百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 (A (提案分) + C) / (A + B + C)	0%				
交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									R6	R7	R8	R9	R10				
1-A-1	都市再生	一般	各務原市	直接	各務原市	那加 from park 構想 (那加地区)	道路等 65.8ha	各務原市						468			
合計													468				
B 関連社会資本整備事業 (該当なし)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									R6	R7	R8	R9	R10				
合計													0				
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									R6	R7	R8	R9	R10				
														0			
合計													0				
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									R6	R7	R8	R9	R10				
合計													0				
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	R6	R7	R8	R9	R10
配分額 (a)	-	-	-	-	-
計画別流用 増△減額 (b)	-	-	-	-	-
交付額 (c=a+b)	-	-	-	-	-
前年度からの繰越額 (d)	-	-	-	-	-
支払済額 (e)	-	-	-	-	-
翌年度繰越額 (f)	-	-	-	-	-
うち未契約繰越額 (g)	-	-	-	-	-
不用額 (h = c+d-e-f)	-	-	-	-	-
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	-	-	-	-	-
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	-	-	-	-	-

(参考図面) 市街地整備



# 都市再生整備計画

な か こうそう  
那加 from Park 構想

ぎ ふ かかみがはら  
岐阜県 各務原市

令和6年4月

事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	<input type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input checked="" type="checkbox"/>

都道府県名	岐阜県	市町村名	かかみがはらし 各務原市	地区名	なか 那加 from Park 構想	面積	65.8 ha
計画期間	令和 6 年度 ~ 令和 10 年度	交付期間	令和 6 年度 ~ 令和 10 年度				

<p><b>目標</b></p> <p>大目標：にぎわいや交流に溢れる那加地区の実現          目標1：公園を中心とした安全で快適に歩ける歩行空間の創出による回遊性向上          目標2：官民一体となった日常的なにぎわいや交流の生まれる空間の創出</p>	
<p><b>目標設定の根拠</b></p> <p>まちづくりの経緯及び現況          各務原市では、「各務原市総合計画(2015～2024)」において、将来都市像に『笑顔があふれる元気なまち ～しあわせ実感 かかみがはら～』を掲げ、「便利で快適に暮らせるまち」を基本目標の1つにしている。これを受けて策定された「各務原市都市計画マスタープラン」(2016～2025)では、2本の鉄道の沿線に形成された市街地については、にぎわいゾーンとして、都市の顔としてふさわしい活気に満ちた便利で美しい拠点の形成を図るとされている。西の都市拠点と位置付けられている各務原市役所前駅及び那加駅・新那加駅周辺は、文化教育施設・行政施設・公園等が集積する地区であり、これらの既存施設を活用しつつ、若年世代から高齢者まで様々な世代が集まるにぎわい・交流の拠点の形成を目指している。          「各務原市立地適正化計画(2022～2041)」においては、立地の適正化に関する基本的な方針として、都市拠点に位置付けられた各務原市役所前駅及び那加駅・新那加駅周辺は、市全域の市民が利用する広域的な都市機能や賑わい創出に資する機能の集積を図るとともに、公共空間を市民と協働して魅力的な空間にしていくことで、市全体の魅力やイメージを向上し、都市拠点におけるまちなか居住を促進するとされている。誘導施策としては、近年、公共施設や鉄道駅、教育施設、公園が立地し、民間主体のイベントが行われ、若い世代を中心に多くの市民の交流の場となっていることから、公園を中心としてエリア価値の向上に向けた官民連携による賑わいの創出を展開していくとされている。また、官民が連携したまちづくりを進めていくために、都市再生推進法人の設立に向けた支援等を行っている。          当地区は、西の都市拠点の中において、市街地でありながら大学跡地という歴史や環境を受け継ぎ、市民に親しまれる広大な緑地空間を有する2つの都市公園(市民公園・学びの森)があり、近年では官民連携イベント「マーケット日和」を始めとして、民間による交流拠点としての役割も果たしているカフェ「KAKAMIGAHARA STAND」の設置、Park-PFI制度による新たな賑わい拠点「KAKAMIGAHARA PARK BRIDGE」の整備、市民公園のリノベーション計画の策定など、新しいことが始まる場として認識されつつあり、公園周辺には人が集まり、賑わいが創出され始めている。          このような動きの中で、当地区西部に位置する商店街においては、まちづくり会社「株式会社OUR FAVORITE CAPITAL」が令和3年2月に設立され、令和4年10月31日には都市再生推進法人として指定された。これまで、各務原市と連携を取りながら、移住相談、まちの魅力発信など、新たなまちの担い手や関係人口を創出する取り組みを行っており、今後も、まちの交流拠点の整備や、空き店舗の活用などに力をいれていく予定となっている。          公園周辺で高まりつつある賑わい創出に向けた機運を逃すことなく地区全体に広げることで、当地区が抱えている、空き店舗の増加や来訪者が長時間快適に過ごせる場が少ないこと、市内の主要駅である各務原市役所前駅及び那加駅・新那加駅、文化教育施設(小中高大)・行政施設(市役所)・公園等といった施設・公共空間が集積しているにも関わらず回遊性が低いこと、といった課題に対して、各務原市都市計画マスタープラン及び各務原市立地適正化計画に基づき、公園や道路の活用について、都市再生推進法人やまちの担い手とともに、公共空間の魅力が周辺エリアに波及していく一体的なまちづくりに官民連携で取り組むことで、解決を図りたいと考えている。</p>	
<p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通軸を中心とした集約型都市構造に合わせた駅周辺の利便性向上や歩行者ネットワークの形成、回遊性を高める取組</li> <li>・後継者不足や郊外型店舗の出店により商店街の空き店舗が増加</li> <li>・都市公園等の空間資源を十分に活用できているとは言えず、より使いやすく居心地の良い空間とするために利用者ニーズを踏まえた質の高い空間づくり</li> <li>・来訪者にゆっくりと交流・滞在を楽しんでもらえる憩いの空間の創出</li> </ul>	

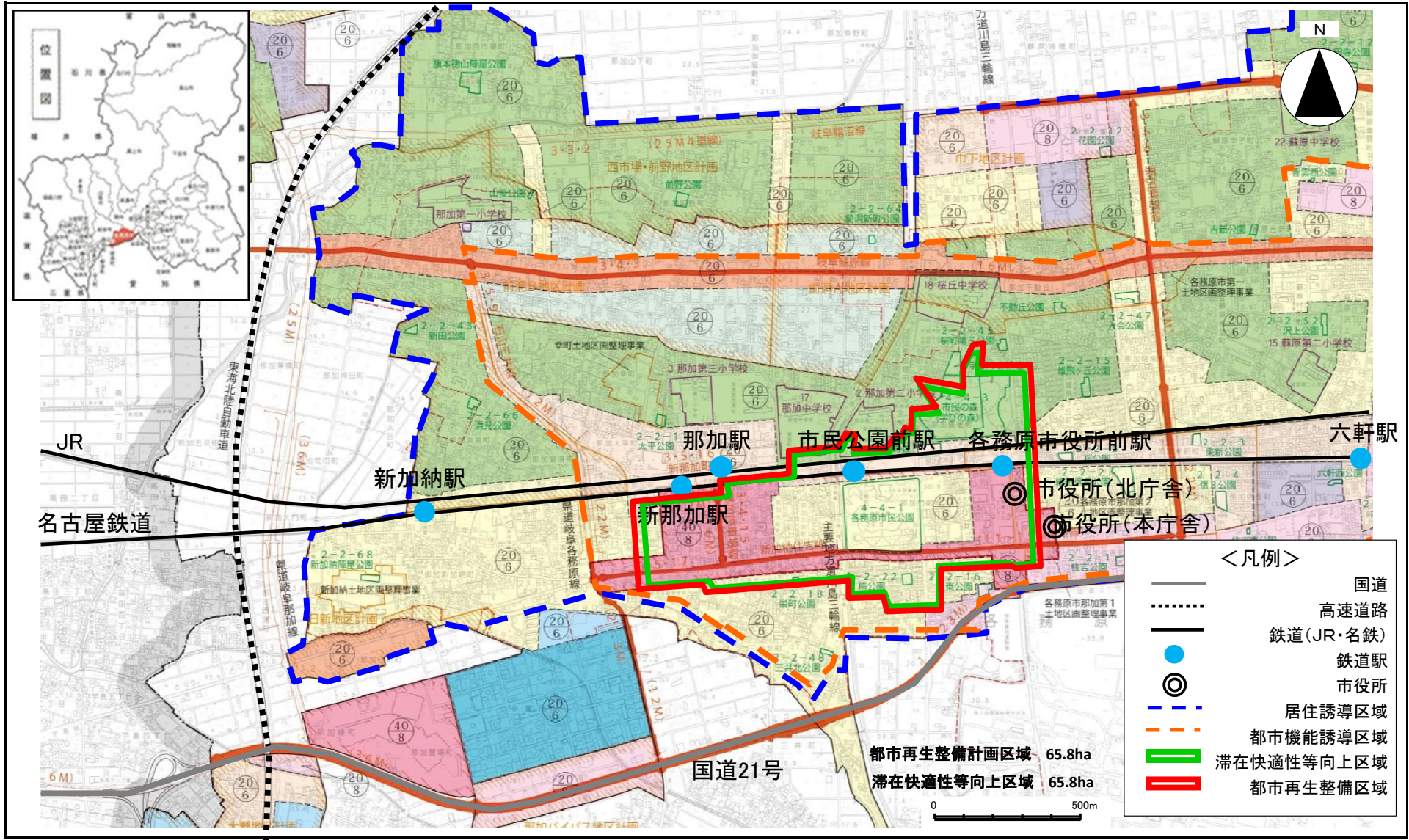


計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【公園を中心とした安全で快適に歩ける歩行空間の創出による回遊性向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆとりがあり安全な歩行空間の確保のための道路改修</li> <li>・区域内の回遊性向上のための交通の確保</li> </ul>	<p>【基幹事業】(道路)市道那538号線 舗装及び歩道改修                  【基幹事業】(高質空間形成施設)市道那474号線カラー舗装                  【基幹事業】(滞在環境整備事業)区域内交通に関する社会実験</p>
<p>【官民一体となった日常的なにぎわいや交流の生まれる空間の創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・快適な空間を創出するための公園のトイレ改築や園路修繕</li> <li>・憩い・待合い等のための滞留空間の整備</li> <li>・公園利用者のニーズに応じたりニューアル事業</li> <li>・区域内の回遊性向上のためのサイン設置</li> <li>・空き店舗を活用し、にぎわいを創出</li> <li>・官民一体での活動を推進するための啓発研修事業</li> </ul>	<p>【基幹事業】(公園)市民公園リノベーション、学びの森の園路の修繕                  【基幹事業】(地域生活基盤施設)広場整備                  【基幹事業】(エリア価値向上整備事業)公園利用に関する社会実験                  【基幹事業】(地域生活基盤施設)サイン設置                  【提案事業】(地域創造支援事業)空き店舗改修                  【提案事業】(事業活用調査)事業効果分析調査、空き店舗に関する調査                  【提案事業】(まちづくり活動推進事業)啓発・研修活動、専門家の派遣</p>
<p>その他</p>	
<p>【その他官民協働の取り組み事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり会社「(株)株式会社OUR FAVORITE CAPITAL」設立(令和3年2月)</li> <li>・都市再生推進法人の指定(令和4年10月31日)</li> <li>・Park-PFI活用による公園施設「KAKAMIGAHARA PARK BRIDGE」オープン(令和3年3月)</li> <li>・官民連携まちなか再生推進事業による「未来ビジョン」策定(令和5年12月予定)</li> <li>・旧公共施設(東亜町会館)の再整備を行い社会実験や情報発信の拠点とする(令和6年5月予定)</li> </ul>	





<p>那加 from Park 構想(岐阜県各務原市)</p>	<p>面積 65.8ha (65.8ha) ha</p>	<p>区域 各務原市那加太平町、新那加町、西野町、楽天地町、本町、吾妻町、日之出町、東那加町、元町、北栄町、栄町、門前町、南栄町、楠町、雲雀町、桜町</p>
---------------------------------	----------------------------------	--



那加 from Park 構想(岐阜県各務原市) 整備方針概要図(まちなかウォーカブル推進事業)

目標	にぎわいや交流に溢れる那加地区の実現 目標1:公園を中心とした安全で快適に歩ける歩行空間の創出による回遊性向上 目標2:官民一体となった日常的なにぎわいや交流の生まれる空間の創出	代表的な指標	駐車場利用台数(台/年)	216,741(4年度) → 249,251(10年度)
			鉄道駅乗降者数(人/年)	120,214(4年度) → 130,000(10年度)

